

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1
健康づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

薬事衛生課 柳 俊徳

電話番号

0852-22-5257

事務事業の名称	エイズ予防対策推進事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	エイズのまん延防止を図る	
事業概要	1. エイズ予防のための普及啓発事業：エイズに対する正しい知識を普及するため、県民に対し、キャンペーン等を実施する。 2. エイズの早期発見対策事業：エイズ感染者を早期発見するため、県民に対し、無料相談や検査を実施する。 3. エイズ医療体制確保事業：適切な医療を提供できるようにするため、エイズ拠点病院に対し、カウンセラーを派遣するとともに、研修会への医師等を派遣する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 患者発生数	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0	人
		取組目標値						
	式・定義 患者発生数	実績値	1.0	2.0				%
	達成率		-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
	達成率		-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,101	3,122
うち一般財源 (千円)	1,550	1,563

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

薬剤の発達により、エイズ発症前に感染が判明した場合はエイズの発症を長期にわたり、抑えることができるようになり、HIV感染症は慢性疾患と言えるようになってきている。このため、早期にHIV感染を発見し、治療に結びつけられるように、保健所におけるエイズ相談・HIV無料検査の体制を整えており、また、エイズ出張講座や世界エイズデーにおける街頭キャンペーン等により普及啓発に努めている。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- エイズ予防のための普及啓発
 - 中高生に向けてのエイズ出前講座の実施
 - 12月世界エイズデーでの啓発
- エイズの早期発見対策事業
 - 保健所での無料検査及び無料相談の実施
 - 6月エイズ検査普及週間の啓発
 - 12月世界エイズデーでの夜間実施
- エイズ医療体制確保事業
 - エイズ拠点病院及び保健所へのカウンセラー派遣周知
 - 研修会への医師等の派遣
 - 県エイズ拠点病院等連絡調整会議の開催

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- HIVに関する普及啓発が進んでいない。
- エイズを発症してから報告される事例がある。

②困っている状況が発生している「原因」

- HIV検査に対する知識、理解が不足している。
- HIV感染者やAIDS患者が少ないこともあり、HIVの知識や理解が不足している。
- 保健所で実施している無料検査や無料相談が周知できていない。

③原因を解消するための「課題」

- 検査を受けて早期に感染を把握する必要があることを啓発する必要がある。
- 相談や、受検しやすい体制づくりの必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 様々な広報媒体を活用しHIV検査の必要性についてPRを行う。
- 保健所での相談、無料検査については引き続き行う。
- HIV感染についての知識を広めるために、今後も啓発を行う必要があり、特に、中高生への啓発資材を配布する。
- エイズ拠点病院を中心とした医療機関間での情報共有や医療体制を確保するため、県エイズ拠点病院等連絡調整会議を開催する。